

第6講 相関係数行列の利用

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 相関係数行列

1 相関係数行列

3つ以上の変数について、総当たりで相関係数を並べた表を「相関係数行列」(correlation matrix) という。

1.1 PSPPP コマンド

- メニューの「分析」 「2変量相関」を選択
- 変数を指定する

1.2 相関係数行列の整形

- 線対称なので、右上 / 左下の三角部分だけを書けばよい。
- 小数第3位までが原則
- 小数点の前につくゼロは省略してもよい
- 検定の結果にしたがって*をつける
- 小数点をそろえること

2 課題

5つ以上の変数をつかって相関係数行列を出力

文献

池田央 (編) (1989) 『統計ガイドブック』新曜社

森敏明・吉田寿夫 (1990) 『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』北大路書房。

Bohrnstedt, G. W. and Knoke, D. (1992) 『社会統計学』(海野道郎・中村隆監訳、学生版) ハーベスト社。